

立川市史編さん委員会	
令和 7 年 3 月 28 日	
資料番号	4

講座「『新編立川市史』の古文書を読む」について

【目的】

市民協働作業「立川の史料を読む会」の参加者減少に鑑み、参加者の拡充や、市史編さん事業および刊行物の周知を図る。

【経緯】

- ・「立川の史料を読む会」の活動は、編さん事業が本格化した 2016 年に、立川市の登録市民団体である公私日記研究会との協働作業として開始した。当初は公私日記研究会のメンバーを中心に 15 名程度が参加していたが、その後減少し、2024 年 11 月時点では参加者が 4 名となった（2025 年 3 月現在は 5 名が参加している）。
- ・11 月 15 日の会で参加者と話し合ったところ、以下のような意見をいただく。
 - ・公私日記研究会に限らず「立川の史料を読む会」の参加者が増えることは期待するが、参加者間で能力や熱意の差が生じかねないことが懸念点である。
 - ・古文書を読む講習会を経た上で「立川の史料を読む会」にステップアップするような道順を整えれば、そのようなギャップも生じにくくなるのではないか。
- ・以上の意見に対し、令和 7 年度第 1 回については通常の「立川の史料を読む会」に代わり、初めて参加する方向けの講座のような形で開催することを提案し、参加者の承諾を得た。

【開催日】2025 年 4 月 18 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分

【会場】たましん RISURU ホール第 1 会議室

【定員】50 名

【申込方法】3 月 10 日から電話にて

【開催告知】「広報たちかわ」3 月 10 日号、たちかわ市民交流大学情報誌「きらり・たちかわ」春号ほか

【内容】

- ・立川市史の編さん事業と刊行物の紹介
- ・江戸時代の柴崎村や鈴木家、古文書について
→『資料編 近世 1』「この本を読まれる方へ」を参考資料とする
- ・古文書の画像と翻刻文を配布し、数点の資料を読む（全て鈴木家文書、『近世 1』掲載史料）
(使用史料案)
 - ・明和 8 年 柴崎村村鑑帳（『近世 1』1-3）：柴崎村の概要
 - ・天明 7 年 名主交代に伴う引き継ぎの御用書物の受け取り状（『近世 1』1-19）：古文書の利用と管理
 - ・天明 2 年 玉川御用鮎世話役の起こり御尋ねについての返答書（『近世 1』1-37）：鮎上納の由来
 - ・文久 4 年 甲子講の序文（『近世 1』1-160）：幕末の武術
- ・「立川の史料を読む会」の活動紹介（参加者からもコメントをいただく予定）